

五旬節の祈禱文

第1 祈禱文

・キリストは死より復活し、死をもって死を滅ぼし、墓にある者に命を与えられました。

・今、天と地と地獄はみな光に満たされました。ゆえに万物は約束されたキリストの復活を祝いなさい。

・キリストの復活を見て、聖なる主イエス、ただひとり罪なき者をお捧みなさい。キリストよ、われらはあなたの十字架をお捧み、あなたの聖なる復活を歌います。あなたはわれらの神だからです。あなたのほかに他の神を知りません。ただ、あなたの名を唱えます。信者よ、みな来て、キリストの聖なる復活をお捧みなさい。十字架によって喜びは、全世界に臨んだからです。われらは常に主を讃美し、その復活を崇め歌います。主は十字架に釘打たれるのを忍び、死をもって死を滅ぼしたからです。あらかじめ言われていたように、イエスは墓より復活し、われらに永遠の命と大いなる憐れみをくださいました。

・われらは死の滅び、地獄の破れ、新しい永遠の命の始まりを祝い、喜びにあふれて、それらをしてくださった栄光ある、賛美される先祖の唯一の神を歌います。

・この選ばれた聖なる日は、ただ一つであり、安息日の王、祭りの中の祭り、祝いの中の最大の祝いの日です。われらはこの日に、キリストを世々に賛め歌います。

・新しいエルサレムである教会よ、光り光りなさい。主の栄光がおまえに輝いているからです。シオンよ、今祝い楽しみなさい。清い生神女よ、あなたが生んだ主の復活を喜びなさい。

・ああ、大いにして聖なるパスハ（過越し）、キリストよ、ああ、知恵と神の言

と力よ、あなたの国の沈むことのない日に、親しくわれらを与らせてください。

第2 祈禱文

・限られない方であるキリストよ、あなたは体にて墓におられ、魂においては神として地獄におられ、盗賊と共にエデンにおられ、父と聖霊と共に宝座におられ、一切を満たしておられます。

・キリストよ、われらの復活の源（始まり）であるあなたの墓は、命を与えるもの、地上より美しきもの、実にすべての王の宮殿より輝くものとして現われました。

・救世主よ、あなたは甘んじて十字架の木に釘づけられ、善悪知識の木の戒めを犯した罰を解きました。力ある者よ、あなたは地獄に降り、神として死の縄目を断ち切られました。ゆえにわれらは、あなたの死からの復活にひれ伏し、喜んで呼びます。全能の主よ、栄光があなたにありますように。

・キリスト神よ、われらは絶えず、あなたの命を与える十字架にひれ伏し、あなたの三日目の復活を讃美します。全能の主よ、あなたはこれをもって人間の朽ちる性質を新しくし、われらを再び天に昇るようにされたからです。ただ一人、人を愛される善い主だからです。

・主よ、あなたは地獄の門を破り、あなたの死をもって死の国を滅ぼし、人類を腐敗から解放し、世界に命と不朽と大いなる恵みをくださいました。

・キリストよ、あなたは十字架によってわれらをはるか昔の呪いから解放し、死をもって人間性を苦しめる悪魔を空しくし、復活をもって万物を喜びに満たされました。ゆえにわれらはあなたに呼びます。死より復活した主よ、栄光があなたにありますように。

・神の独り子である言よ、あなたは父のふところから離れることなく、人を愛

されるあまり地上ちじょうにこ来られ、神性しんせいをか変えることなく人ひととなりました。神性しんせいにお
いては苦しみくるに与あずからない者ものとして、体からだにおいて十字架じゅうじかと死しを耐えられました。
死しより復活ふっかつして人類じんるいに不死ふしを与あたえられます。ただ一人全能ひとりぜんのうの主しゅだからです。

第3 祈禱文

・天てんより降くだられたイエスは十字架じゅうじかに昇のぼり、死ぬしことのない命いのちは、死ぬしために来き
ました。真まことの光ひかりは暗闇くらやみに座ざす者に現もわれ、すべての人ひとの復活ふっかつは、罪つみと死しに陥おちい
った者に臨もみしました。われらを照てらし救すくわれる主しゅよ、栄光えいこうがあなたにあります
ように。

・キリストよ、あなたは尊とうとき十字架じゅうじかをもつて悪魔あくまを辱はずかしめ、復活ふっかつをもつて罪つみ
の棘とげを鈍にぶくし、われらを死しの門もんより救すくわれました。神かみの独ひとり子ごよ、われらはあな
たを讚美さんびします。

・人類じんるいに復活ふっかつを与える主あたは、羊しゅのように屠ひつじられるために引ほふかれて行ひきました。
地獄じごくの王おうはこれをおそかななもんととのぞかれしました。栄光えいこうの王おうであるキリ
ストが地獄じごくにはい入れ、縛しばられている者ものに出でなさい、暗闇くらやみにいる者ものには現あらわれな
さいと言いわれたからです。

・われらは夕ゆうの礼拝れいはいを、沈しずむことのない光ひかりであるあなたに献ささげます。あなたは
世よの終おわりに、鏡かがみのように肉にく体たいをもつて世界せかいに輝かがやき、地獄じごくにくだり、そこ
にある暗闇くらやみをやぶり、復活ふっかつの光ひかりをすべてたみの民あらに顕ひかりわしました。光ひかりを与あたえる主しゅよ、
栄光えいこうがあなたにありますように。

・地獄じごくを虜とりこにし、死しを滅ほろぼした主しゅ、尊とい十字架じゅうじかをもつて世界せかいを照てらされたわ
たしの救世主きゅうせいしゅよ、われらを憐あわれみください。

・主しゅよ、不法ふほうなる者ものたちは墓はかを封印ふういんしましたが、あなたは生神女しょうしんじょより生うまれた
ように、墓はかから出でて来こられました。どのようにしてあなたが肉にく体たいを取とられたの
は、形無かたちき天使なたちは悟てんることができません。何時いつ、あなたが復活ふっかつをしたのか
は、墓はかをまもる兵士へいしたちは覚おぼえていません。この二ふたつのことけんきゅうは研究ものする者ふうには封

じられ、^{しんこう}信仰をもつて^{おくぎ}奥義を^{おが}拝む^{もの}者には^{きせき}奇跡として^{あら}現われました。この^{おくぎ}奥義を
^{さんび}讚美するわれらに^{よろこ}喜びと^{おお}大きな^{あわ}憐れみをお与えください。

・主よ、^{ふじん}婦人たちは^{ほか}墓に^{はし}走り、われらのために^{くる}苦しみを^う受けられた^しキリストを
^み見ようとしましたが、^{てんし}天使を^み見ました。^{てんし}天使は^{じしん}地震によって^{ころ}転がされた^{いし}石の上
^{すわ}に座り、^{かのじよ}彼女たちに^い言いました。^{しゅ}主は^{ふっかつ}復活しました。^{しと}使徒たちに^{つた}伝えなさい。
われらの^{たましい}魂を^{すく}救われる^{しゅ}主は^{ふっかつ}復活されました。

第4 祈祷文

・^{じごく}地獄に^か勝つ^{じゆうじか}キリストよ、あなたは^{のぼ}十字架に^{ししや}上られました。^{なか}死者の中で^{じゆう}自由な
^{もの}る者、^{じぶん}ご自分の^{ひかり}光より^{いのち}命を^{なが}流す者として、^し死の^{くらやみ}暗闇に^ざ座す者を、^{じぶん}ご自分と^{とも}共に
^{ふっかつ}復活させるためです。^{ぜんのう}全能の^{きゆうせいしゅ}救世主よ、われらを^{あわ}憐れみください。

・^{いま}今^しキリストは^{ほろ}死を^い滅ぼして、かつて^{ふっかつ}言われていたように^{せかい}復活し、^{よろこ}世界に^あ喜び
^{あた}を与えられました。^{わた}わたしたちが^{よろこ}喜んでこのように^{うた}歌うためです。^{いのち}命の^{いずみ}泉、
^{ちか}近づくことのできない^{ひかり}光、^{ぜんのう}全能の^{きゆうせいしゅ}救世主よ、われらを^{あわ}憐れみください。

・主よ、われら^{つみびと}罪人は、すべての^{ひぞうぶつ}被造物と^{とも}共におられる^さあなたを^い避けて、どこ
に行くことができましょう。^{てん}天はあなたの^すお住まいであり、^{じごく}地獄はあなたの^し死
をもって^{ほろ}滅ぼされました。^{うみ}海の^{ふか}深い^{ところ}所に行きましようか。^{しゅ}主よ、そこにもあなた
の手があります。^てわれらはあなたに^{はし}走りつき^{れいはい}礼拝して^{いの}祈ります。^し死より^{ふっかつ}復活
した^{しゅ}主よ、われらを^{あわ}憐れみください。

・主よ、あなたの^{じゆうじか}十字架は、あなたの^{ひとびと}人々にとって^{いのち}命であり^{ふっかつ}復活です。われら
はこれを^{たよ}頼り、^{ふっかつ}復活された^{かみ}わたしの^{うた}神を^{あわ}歌います。われらを^{あわ}憐れみください。

・主よ、あなたの^{ほうむ}葬りは、^{じんるい}人類のために^{ひら}エデンを開きました。われらは^{ふはい}腐敗か
らの^が逃れて、^{ふっかつ}復活された^{かみ}わたしの^{うた}神を^{あわ}歌います。われらを^{あわ}憐れみください。

・^{しる}キリストよ、あなたは^み記されているように^み三日目に^{ほか}墓から^{ふっかつ}復活し、われらの

せんぞ ご自分と ともに 共に 起こされました。ゆえに 人類は あなたの 栄光を 讃え、あなたの 復活を 崇め 歌います。

・天の王は、人を愛されるあまり 地に現われ、人と共におられます。清い処女から 肉体を取られ、人間性をもって 生まれた者は、二つの性質を持ち、一つの位を持つ 神の独り子です。ゆえにわれらは 彼が、実に 完全な神であり、同時に 完全な人であることを 伝えて、キリストわが神を受け入れます。夫を知らない母よ、わたしの 魂が 憐れみを いただけるように、キリストにお祈りください。

第5 祈禱文

・主よ、あなたは 審判座の 前に立ち、ピラトから 審判されましたが、父なる神と共に 座し、宝座から 離れませんでした。死より 復活して、世界を 敵の 奴隷から 解放されました。慈しみ 深く 人を愛される 神だからです。

・主よ、ユダヤ人はあなたを 死者のように 墓に 納めましたが、兵士は 眠る王を守るように、あなたを守りました。命の宝のように 封印をして 封じましたが、あなたは 復活して、われらの 魂に 不滅を 与えられました。

・主よ、あなたは 悪魔に 勝つ 武器として、われらに 十字架を 与えてくださいました。悪魔は 震え 懼いて、その力を 見る ことが できません。死者を 起き 上がらせ、死を 空しく した からです。われらは あなたの 葬りと 復活を 伏し 拝みます。

・主よ、復活を 伝えた 天使たちは、番兵に 恐怖を 与え、婦人たちを 呼んで 言いました。どうして 生きて いる 方を 死者の 中に 捜すのか、彼は 神として 復活し、世界に 命を 与えられました。

第6 祈禱文（トマスの主日）

・弟子が 疑ったので、第八日目に 救世主は、皆が集まっている 所の 真ん中に 立って 平安を 与え、トマスに 言いました。使徒よ、来て、釘打たれた手に 触り

なさい。ああ、トマスの善なる不信仰よ、信者の心を知識で満たしました。彼は畏れて言います。わたしの主、わたしの神よ、栄光があなたにありますように。

・キリストよ、門が閉じていたのに、あなたは弟子たちの所に来られました。その時トマスは神の摂理によって彼らと共にいませんでした。彼は言いました。わたしも主を見なければ信じない、血と水、すなわち洗礼の泉が出た脇腹を見なければ、また人の大いなる病が癒されたあの傷を見なければ、かつてあったように、霊的ではなく骨と肉を見なければ信じない。死を滅ぼしてトマス信じさせた主よ、あなたに栄光がありますように。

・キリストよ、門が閉じているのに、あなたが入って来られた時、トマス、すなわち双子といわれる者は弟子たちと共にいませんでした。弟子たちが言ったことを信じられずに、不信仰をもって信仰を確かにするのを望みました。憐れみ深い主は、トマスあなたの清い脇腹と手足の傷を示すのに用いる者となりました。彼は触り、見て、あなたがただ神性の神だけでなく、ただ人間性の人だけでもないことを認めて言いました。わたしの主、わたしの神よ、栄光があなたにありますように。

・ああ栄光ある奇跡よ、不信仰はより確かな信仰を生みました。トマスは言いました。わたしは見なければ信じない。脇腹に触った後、肉体を取られた方を褒め上げ、その身をもって苦しみを受けられた神の子であることを悟り、復活した神を伝え、朗らかな声をもって言います。わたしの主、わたしの神よ、栄光があなたにありますように。

・ああ聖なる奇跡よ、ヨハネは言であるイエスの胸に依りかかり、トマスは脇腹に触ることを許されました。ヨハネはそこから慎んで、神学の深い摂理を汲み上げ、トマスはわれらに秘密を教える者となりました。明らかに復活というしるしを立てて言います。わたしの主よ、わたしの神よ、栄光があなたにありますように。

・ああ栄光ある奇跡よ、火に触れた草は救われました。トマスはイエス・キリ

スト、神の火である方の脇腹に手を入れて、触れても焼かれなかったからです。
魂の不信仰を強い信仰に変えて、心の底から熱心に言いました。あなたはわたしの主であり、神です。死より復活した者よ、栄光があなたにありますように。

・キリストよ、死の門も、墓の封印も、戸の鍵も、あなたの敵ではありません。
主よ、あなたは復活してあなたの友に現われ、すべての知識を超えた平安を与えられました。

・キリストよ、あなたは十字架をもって、われらの古い人を新しい人とし、朽ちる者を朽ちない者にし、新しいいのちにふさわしく日々を送ることを命じられました。

・恵みを与える主よ、ディディモ（トマス）は、槍をもって刺されたあなたの脇腹から、盗まれることのない神聖なる宝である富を汲み、世界に知恵と知識を満たしました。

・キリストよ、あなたはトマスの不信仰を用いて、信仰を生み出させました。あなたは人を愛される主なので、知恵をもって万事を益に向かわせます。

・主よ、あなたは不信仰という深い淵に沈んだトマスを中心に遺さず、探るために手を伸ばされます。

・弟子の手が主の火の脇腹に触れた時、誰がトマスに焼かれないように守ったのか。誰が彼に勇気を与えて、さわることの出来ない炎の骨に触らせたのか。もし、主の脇腹が朽ちるべき手に力を与えなかったなら、どうして、苦しみをもって天と地にいるすべての者を動かした体に触れることができたであろう。トマスはこの脇腹にさわって、キリストに向かって、あなたはわたしの主、わたしの神ですと呼ぶ恵みが与えられました。

・この日は、諸々の日の中で第一の日であり、日のかしらです。光を与える日であって、この日に神の新しい民が慎んで喜ぶことはふさわしいことです。

この第八日目は更新の日であり、未来の世界の形を示しています。先祖とわれらの尊ぶ神よ、あなたは崇め讃められます。

・キリストよ、トマスは徒に疑ったのではないので、墮落しませんでした。万民のために復活を疑いなきものにしようとしたからです。不信仰によって信じるようになり、すべての民に教えました。あなたは主です。先祖とわれらの尊ぶ神よ、あなたは崇め讃められます。

教父たちの復活節の説教

①【復活節の説教】（4世紀のヨハネ・クリュソストモス）

敬虔で神を愛する人は誰でも来て、この美しく輝く祝祭の喜びを深く味わいなさい。忠実な召し使いは誰でも歓喜して、その主人の喜びに入りなさい。

断食の疲れを耐え忍んだ人は、今やその報いを受け取りなさい。

最初のときから働いた人は、今日その正当な報いを受けなさい。

朝9時の後に来た人は感謝しながら楽しみなさい。昼の12時を過ぎて到着した人は、いささかも思わずらってはなりません。少しも失うところはありません。午後3時まで遅れてしまった人は、少しも疑わないで近づきなさい。夕方の5時にしか現われなかった人も、遅れたからといって恐れてはなりません。

なぜなら、主は寛容で、最後に来た人も最初に来た人と同様に受け入れられるからです。主は夕方5時に来た労働者を最初から働いた人と同じように安息に入ることをゆるします。主は最後の人を憐れみ、最初の人にも気を配ってください。どの人にも恵みを与えます。主はなされた仕事を受け入れ、その意図を大切にします。功労を敬い、望みをもほめられます。だから皆、主の喜びに入りなさい。

最初の人々は次に来た人々と同じく報酬を受けなさい。富める者も、貧しい者も共に祝いなさい。節制した人も怠惰な者も、この日を喜びなさい。断食した人もしなかった者もこの日を楽しみなさい。

祝宴の準備はできました。皆、食べて飽き足りなさい。肥えた仔牛が提供さ

れます。誰も飢えて客席から去ることがあってはなりません。すべての人が信仰の宴を喜びますように。すべての人が慈愛の富を受け取りますように。

誰も貧しかったことを悲しみませんように。なぜなら、すべての人のものである王国が現われたのですから。誰もその過ちに涙を流しませんように。なぜなら、赦しが聖い墓から輝き出たのですから。誰も死を恐れませんが。なぜなら、救世主の死がわたしたちを解き放ったのですから。

彼は死に囲まれましたが、この死を滅ぼしました。彼は地獄に降って、地獄を虜にしました。彼は自分の肉体をつかんだ者、すなわち地獄を悲しませました。

イザヤはこれをあらかじめ知って語っているのです。地獄は地の底にあなたを迎えて悲しんだのです。悲しんだのは、自分が空しくされたからです。悲しんだのは、辱められたからです。悲しんだのは、地獄が滅んだからです。悲しんだのは、地獄が葬りさらされたからです。悲しんだのは、地獄が縛られたからです。

地獄は一つのキリストの肉体をつかんだので、神の前に立ちました。地をつかんだので天に出会いました。見える者をつかんだので、見えない神の手中に落ちたのです。

おお死よ、お前の刺はどこにあるのか。地獄よ、お前の勝利はどこにあるのか。

キリストは復活して、お前は葬られた。

キリストは復活して、悪魔は倒れた。

キリストは復活して、天使らは喜ぶ。

キリストは復活して、生命は凱旋する。(勝利する)

キリストは復活して、墓にはもはや死はない。

なぜなら、キリストは死より復活して、今眠っている人々の初穂となったからです。彼に、栄光と誉れがありますように。世々にいたるまで。アーメン。

②【死の善】 (4世紀ミラノの聖アンブロシウス)

今生きつつある命にも死があること、しかもよい死があることをわたしたちが認識するように、「いつもイエスの死をわたしたちの体にまとう」ことを勧めている。自分の中にイエスの死を味わった者は、自分の体の中に主イエスのいのちをもつからである。したがって、わたしたちの中に死がはたらくがよい。

いのちがはたらくことになるからである。良いいのちは死の後にくる。すなわち、良いいのちは勝利の後、戦いが終わってからくる。そのとき、もはや肉の法則は心の法則と戦うことがなく、死と体の間の戦いもなく体に対して死が勝利を収めたことになる。ところで、わたしはこのような死が、いのちよりも強力であるような気がする。…

一人の死が、どれほど多くの民にいのちをもたらしたことだろうか。それで、この世で生きているわたしたちは、キリストの死がわたしたちの体の中に輝き出るような死、「わたしたちの内なる人が新たにされ」、「わたしたちの地上の住みかが滅びて」天上の住まいが開かれるために、外なる人が衰えるというような幸いな死を望むべきであると使徒パウロは教えている。

…したがって、人が罪を犯し続けられないために、主は死が入り込むことをゆるされた。しかし他方、人間本性が死で終わることもないように、死者の復活が与えられた。それは死によって罪が断ち切られながら、人間本性が復活によって永遠に生きるためである。

このような死は、すべての人間が通過する門である。あなたは絶えず通過しなければならぬ。その通過とは、腐敗から不滅へ、死から不死へ、混乱から平静への通過である。それゆえ、死という名称を嫌うよりは、幸いな通過の恩恵を喜ぶべきである。死は諸悪の埋葬、諸徳の復活以外の何ものでもないではないか。

③【聖土曜日のための古代の説教】

何が起きているのでしょうか。きょうは大沈黙が地上を覆っています。大沈黙とそれに孤独です。大沈黙があるのは王が墓に眠っておられるからです。「地は畏れて鎮まりました。」神が肉体において眠りにつかれ、世々の昔から眠りについてた人々を立ち上がらせたのです。神が肉体において死に、陰府は震えたのです。

迷える羊を捜すように主が捜しに行かれたのは人祖です。主はまた、闇と死の陰に座する人々を訪ねることを望んでおられます。そうです、捕らわれの身であるアダムと、同じく捕らわれの身であるエバを苦しみから解き放つために、神と神の子は進んで行かれるのです。

主は勝利をもたらず十字架という武器をもって、彼らのもとに入って来られました。…そしてアダムの手を取って起こしながら言われます。「眠りにについている者、起きよ。死者の中から立ち上がれ。そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」

わたしはあなたの神である。それなのに、あなたのためにあなたの子となったのである。あなたとその子孫のために、今あなたに告げ、わたしの権威をもって命じる。鎖につながれている者には「出よ」、闇にいる者には「光を受けよ」、眠りにについている者には「立ち上がれ」と。

あなたに命じる。眠りにについている者よ、起きよ。わたしは、あなたが陰府の国にいつまでも捕らわれの身でいるためにあなたを造ったのではない。死者の中から起き上がれ。わたしは死者のいのちである。わたしの手で造られた者よ、起きよ。わたしに似せて造られたわたしの似姿よ、起きよ、立て。ここから出て行こう。あなたはわたしのうちにいる。わたしたちは唯一で不可分の身なのだ。

あなたの神であるわたしがあなたの子となったのは、あなたのためである。あなたの主であるわたしが奴隷の姿をとったのは、あなたのためである。天よりも高いわたしが地上に、そして地の下にまで来たのは、あなたのためである。死者の中にあっても自由の身であるわたしが助けられない人になったのは、人であるあなたのためである。わたしが園でユダヤ人に渡され、園で十字架につけられたのは、園から出て行ったあなたのためである。わたしの顔に吐きかけられた唾を見よ。それを甘んじて受けたのはあなたのためである。あなたをあの最初のいのちの息吹へと連れ戻すためである。わたしの頬に受けた平手打ちの跡を見よ。それを耐え忍んだのは、醜くなったあなたの姿を、わたしの似姿に造り直すためであった。わたしが背中に受けた鞭打ちの跡を見よ。それはあなたの背にのしかかるあなたの罪の重荷を払いのけるためであった。木に手を伸ばして、罪を犯したあなたのために、木にしっかりと釘打たれたわたしの手を見よ。わたしは十字架の上で眠りに入り、剣でわき腹を刺し貫かれた。それは、楽園で眠り、わき腹からエバを生み出したあなたのためであった。わたしのわき腹はあなたのわき腹の痛みをいやしたので。わたしの眠りは陰府の国の眠りからあなたを連れ出すことになる。わたしが受けた剣によって、あなたに

む
向けられていた づるぎ さ と
剣が差し止められたのである。
た
立て、ここから 出で 行こう。敵はあなたを 楽園から 連れ出した。しかし、わた
しはあなたを、もはや 楽園にではなく 天の玉座に着ける。わたしはいのちのし
るしである 木からあなたを 遠ざけたが、見よ、今やいのちそのものである わた
しがあなたと一つに 結ばれている。わたしはケルビムに、しもべのようにあな
たを 守るよう 命じたが、神を あがめるかのようにあなたをケルビムに あがめさ
せる。ケルビムの玉座は 設けられ、客を 担ぐ者たちが 待ち受けている。婚礼の
床は 整えられ、食事は 用意され、永遠の 住まいは 完備された。幸せの 宝庫は 開
かれ、天の国は 永遠の 昔から 備えられている。